

工事成績採点の考査項目別運用表

【記入方法】 該当する項目に1を入れる。

(共通・検査員用)

評価項目	細別	a		b	c	d		e	
2. 施工状況	I. 施工管理	優れている。		やや優れている。	他の事項に該当しない。	やや劣っている。		劣っている。	
		該当	評価	「評価対象項目」			評価		評価
				<input type="checkbox"/> 工事材料の品質に影響がないよう保管していることが確認できる。			<input type="checkbox"/> 施工管理について、工事監督員が文書による改善指示を行った。	<input type="checkbox"/> 施工管理について、工事監督員からの文書による改善指示に従わなかった。	
				<input type="checkbox"/> 契約書17条第1項第1号から5号に基づく設計図書の照査を行っていることが確認できる。					
				<input type="checkbox"/> 施工計画書が工事着手前に提出され、所定の項目が記載されているとともに、設計図書の内容及び現場条件を反映したもとなっていることが確認できる。					
				<input type="checkbox"/> 工事期間を通じて、施工計画書の記載内容と現場施工方法が一致していることが確認できる。					
				<input type="checkbox"/> 現場条件又は計画内容に変更が生じた場合は、その都度当該工事着手前に変更計画書を提出していることが確認できる。					
				<input type="checkbox"/> 建設副産物の再利用等への取組を行っていることが確認できる。					
				<input type="checkbox"/> 作業分担と責任の範囲が書面で確認できる。					
				<input type="checkbox"/> 施工体制台帳及び施工体系図を法令等に沿った内容で適確に整備していることが確認できる。					
				<input type="checkbox"/> コリンズの登録（5百万円以上）が適切に行われていることが確認できる。					
				<input type="checkbox"/> 社内検査体制、品質管理体制が確立され、有効に機能していることが確認できる。					
				<input type="checkbox"/> 社内の管理基準に基づき管理していることが確認できる。					
				<input type="checkbox"/> 工事の関係書類を過不足なく作成していることが確認できる。					
				<input type="checkbox"/> 段階及び立会確認の手続きを事前に行っていることが確認できる。					
		<input type="checkbox"/> その他（理由： ）							
		該当項目の内達成項目が90%以上…………… a							
		該当項目の内達成項目が80%～90%未満…………… b							
		該当項目の内達成項目が80%未満…………… c							
	評価率	※該当項目が2項目以下の場合はc評価とする。							
	評定								
	点数								



工事成績採点の考査項目別運用表

〔記入方法〕 該当する項目に1を入れる。

(土木・検査員用)

評価項目別	工種	a	a'	b	b'	c	d	e	
3. 出来形及び出来ばえ II. 品質	コンクリート構造物工事	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価率）から判断する。（判断基準参照）							
		該当	評価	「評価対象項目」			評価	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、工事監督員が文書で改善指示を行い改善された。	
				<input type="checkbox"/> コンクリートの配合試験等を行っており、コンクリートの品質（強度・w/c、最大骨材粒径、塩化物総量、単位水量、アルカリ骨材反応抑制等）が確認できる。			<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、工事監督員が文書で改善指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。	
				<input type="checkbox"/> コンクリート受入時に必要な試験を実施しており、温度・スランプ・空気量等の測定結果が確認できる。					
				<input type="checkbox"/> 圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。					
				<input type="checkbox"/> 施工条件や気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ及び締固め方法が、定められた条件を満足していることが確認できる。（寒中及び暑中コンクリート等を含む）					
				<input type="checkbox"/> コンクリートの養生が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。					
				<input type="checkbox"/> コンクリートの圧縮強度を管理し、必要な強度に達した後に型枠及び支保工の取り外しを行っていることが確認できる。					
				<input type="checkbox"/> 鉄筋の品質が、証明書類で確認できる。					
				<input type="checkbox"/> コンクリート打設時までにはさび、どろ、油等の有害物が鉄筋に付着していないよう管理していることが確認できる。					
				<input type="checkbox"/> 鉄筋の組立・加工が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。					
				<input type="checkbox"/> 圧接作業に当たり、作業員の技量確認を行っていることが確認できる。					
				<input type="checkbox"/> スペースの品質及び個数が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。					
				<input type="checkbox"/> 有害なクラックがない。					
				<input type="checkbox"/> その他（理由： _____）					
		「品質関係の試験結果のばらつき」							
		<input type="checkbox"/> ばらつきが50%以内							
		<input type="checkbox"/> ばらつきが80%以内							
		<input type="checkbox"/> ばらつきが80%を超える							
	評価率								
	評定	※該当項目が2項目以下の場合はc評価とする。							
	点数								

  

		ばらつきで判断可能		
		50%以内	80%以内	80%を超える
評価率	90%以上	a	a'	b
	75%以上90%未満	a'	b	b'
	60%以上75%未満	b	b'	c
	60%未満	b'	c	c

※ばらつきで判断できない場合は、品質のばらつきを規格値の80%以内と見なして評価する。

工事成績採点の考査項目別運用表

【記入方法】 該当する項目に1を入れる。

(土木・検査員用)

評価項目別	工種	a	a'	b	b'	c	d	e	
3. 出来形及び出来ばえ II. 品質	土工事 (切土、盛土、築堤等工事)	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価率）から判断する。（判断基準参照）							
		該当	評価	「評価対象項目」			評価	評価	
				<input type="checkbox"/> 雨水による崩壊が起こらないように、法頭や法尻の排水路、法面のシートかけ等の排水対策を実施していることが確認できる。			<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、工事監督員が文書で改善指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。	
				<input type="checkbox"/> 段切りを設計図書に基づき行っていることが確認できる。					
				<input type="checkbox"/> 掘削を行うにあたり、床付面以下を乱さないように施工していることが確認できる。					
				<input type="checkbox"/> 締固めが設計図書に定められた条件を満足していることが確認できる。					
				<input type="checkbox"/> 一層あたりのまき出し厚を管理していることが確認できる。					
				<input type="checkbox"/> 植生工を設計図書に定められた条件で行っていることが確認できる。					
				<input type="checkbox"/> 構造物周辺の締固めを設計図書に定められた条件で行っていることが確認できる。					
				<input type="checkbox"/> 土羽土の土質が設計図書を満足していることが確認できる。					
				<input type="checkbox"/> CBR試験などの品質管理に必要な試験を行っていることが確認できる。					
				<input type="checkbox"/> 法面に有害な亀裂がない。					
				<input type="checkbox"/> 伐開除根作業が設計図書に定められた条件を満足していることが確認できる。					
				<input type="checkbox"/> その他（理由： _____）					
				「品質関係の試験結果のばらつき」					
		<input type="checkbox"/> ばらつきが50%以内 <input type="checkbox"/> ばらつきが80%以内 <input type="checkbox"/> ばらつきが80%を超える							
	評価率								
	評定	※該当項目が2項目以下の場合はc評価とする。							
	点数								

  

		ばらつきで判断可能		
		50%以内	80%以内	80%を超える
評価率	90%以上	a	a'	b
	75%以上90%未満	a'	b	b'
	60%以上75%未満	b	b'	c
	60%未満	b'	c	c

※ばらつきで判断できない場合は、品質のばらつきを規格値の80%以内と見なして評価する。

工事成績採点の審査項目別運用表

〔記入方法〕 該当する項目に1を入れる。

(土木・検査員用)

評価項目別	工種	a	a'	b	b'	c	d	e	
3. 出来形及び出来ばえ II. 品質	用排水 (コンクリート等の2次製品、柵渠)	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価率)から判断する。(判断基準参照)							
		該当	評価	「評価対象項目」			評価	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、工事監督員が文書で改善指示を行い改善された。	
				<input type="checkbox"/> 製品の構造が設計条件を満たしていることが確認できる。			<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。		
				<input type="checkbox"/> 材料の品質が証明書類で確認できる。					
				<input type="checkbox"/> 製品に損傷及び補修痕がないことが確認できる。					
				<input type="checkbox"/> 転倒や崩壊等がないよう製品の仮置を行っていることが確認できる。					
				<input type="checkbox"/> 設計図書で示された通り施工していることが確認できる。					
				<input type="checkbox"/> 継ぎ目の施工は入念に行われていることが確認できる。					
				<input type="checkbox"/> 掘削を行うにあたり、床付面以下を乱さないように施工していることが確認できる。					
				<input type="checkbox"/> 基礎砂利等の転圧は適切に行われていることが確認できる。					
				<input type="checkbox"/> その他(理由: )					
		「品質関係の試験結果のばらつき」							
		<input type="checkbox"/> ばらつきが50%以内							
		<input type="checkbox"/> ばらつきが80%以内							
		<input type="checkbox"/> ばらつきが80%を超える							
	評価率								
	評定	※該当項目が2項目以下の場合はc評価とする。							
	点数								

  

		ばらつきで判断可能		
		50%以内	80%以内	80%を超える
評価率	90%以上	a	a'	b
	75%以上90%未満	a'	b	b'
	60%以上75%未満	b	b'	c
	60%未満	b'	c	c

※ばらつきで判断できない場合は、品質のばらつきを規格値の80%以内と見なして評価する。

工事成績採点の審査項目別運用表

〔記入方法〕 該当する項目に1を入れる。

(土木・検査員用)

評価項目 細別	工種	a		a'	b		b'	c		d		e		
		該当	評価	「評価対象項目」	評価	「品質関係の測定方法 又は測定値が不適切であつたため、工事監督員が文書で改善指示を行い改善された。」	評価	「品質関係の測定方法 又は測定値が不適切であつたため、検査員が修補指示を行った。」						
3. 出来形及び出来ばえ II. 品質	護岸・根固・水制工事、排水路工事	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価率）から判断する。（判断基準参照）												
				<input type="checkbox"/> 施工基面を平滑に仕上げていることが確認できる。		<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であつたため、工事監督員が文書で改善指示を行い改善された。  <input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であつたため、検査員が修補指示を行った。								
				<input type="checkbox"/> 基礎工において、掘り過ぎが無く施工していることが確認できる。										
				<input type="checkbox"/> 施工にあたって、床堀箇所の湧水及び滞水等は、排除して施工していることが確認できる。										
				<input type="checkbox"/> 裏込材及び胴込めコンクリートの締固めを空隙が生じないよう十分に行っていることが確認できる。										
				<input type="checkbox"/> 緑化ブロック、石積（張）、法枠、かごマット等における材料のかみ合わせ又は連結が、裏込材の吸出しがないよう行っていることが確認できる。										
				<input type="checkbox"/> 石積（張）工において、大きさ及び重さが設計図書の仕様を満足していることが確認できる。										
				<input type="checkbox"/> 護岸工の端部や曲線部の処理が適切であり、必要な強度及び水密性を確保していることが確認できる。										
				<input type="checkbox"/> シートが所定の幅で重ね合わせられ、端部処理が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。										
				<input type="checkbox"/> 植生工を設計図書に定められた条件で行っていることが確認できる。										
				<input type="checkbox"/> 根固工、水制工、沈床工、捨石工等において、材料の連結及びかみ合わせが設計図書の仕様を満足していることが確認できる。										
				<input type="checkbox"/> 材料の品質が、証明書類で確認できる。										
				<input type="checkbox"/> コンクリートブロック等を損傷無く設置していることが確認できる。										
				<input type="checkbox"/> 埋戻し材料について、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。										
				<input type="checkbox"/> 有害なクラックがない。										
		<input type="checkbox"/> その他（理由： _____）												
		「品質関係の試験結果のばらつき」												
		<input type="checkbox"/> ばらつきが50%以内												
		<input type="checkbox"/> ばらつきが80%以内												
		<input type="checkbox"/> ばらつきが80%を超える												
		評価率												
		評定		※該当項目が2項目以下の場合はc評価とする。										
		点数												

  

		ばらつきで判断可能		
		50%以内	80%以内	80%を超える
評価率	90%以上	a	a'	b
	75%以上90%未満	a'	b	b'
	60%以上75%未満	b	b'	c
	60%未満	b'	c	c

※ばらつきで判断できない場合は、品質のばらつきを規格値の80%以内と見なして評価する。

工事成績採点の審査項目別運用表

〔記入方法〕 該当する項目に1を入れる。

(土木・検査員用)

評価項目 細	工種	a	a'	b	b'	c	d	e		
3. 出来形及び出来ばえ II. 品質	鋼橋工事 (RC床版工事はコンクリート構造物に準ずる。堰水門等工場製作を含む)	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価率)から判断する。(判断基準参照)								
		該当	評価	「評価対象項目」			評価	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、工事監督員が文書で改善指示を行い改善された。	評価	
				【工場製作関係】					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。	
				<input type="checkbox"/> 鋼材の種類を品質を証明する書類又は現物により照合していることが確認できる。						
				<input type="checkbox"/> 溶接作業にあたり、作業員の技量確認を行っていることが確認できる。						
				<input type="checkbox"/> 溶接作業にあたり、溶接材料の使用区分が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。						
				<input type="checkbox"/> 溶接施工に係る施工計画書を提出していることが確認できる。						
				<input type="checkbox"/> 孔空けによって生じたまくれが削り取られているなど、きめ細やかに製作していることが確認できる。						
				<input type="checkbox"/> 母材、溶接部等に補修痕や欠陥部のないことが確認できる。						
				<input type="checkbox"/> 塗装作業にあたり、塗布面を十分に乾燥させて施工していることが確認できる。						
				<input type="checkbox"/> 素地調整程度1種を行った場合、4時間以内に塗装を実施していることが確認できる。						
				<input type="checkbox"/> 塗料の空缶管理について、写真等で確実に空であることが確認できる。						
				<input type="checkbox"/> 塗料の品質が出荷証明書、塗料成績表により、製造年月日、ロット番号、色彩、数量が確認できる。						
				<input type="checkbox"/> 仮組立は、各部が正しく工作され、所定の形状、寸法精度であることが確認できる。						
				<input type="checkbox"/> その他(理由: )						
		【架設関係】								
		<input type="checkbox"/> ボルトの締付確認が実施され、記録を保管していることが確認できる。								
		<input type="checkbox"/> ボルトの締付機及び測定機器のキャリブレーションを実施していることが確認できる。								
		<input type="checkbox"/> 高力ボルトの締め付けを中心から外側に向かって行っていることが確認できる。								
		<input type="checkbox"/> 高力ボルトの品質が、証明書類で確認できる。								
		<input type="checkbox"/> 支承の据付で、コンクリート面のチップング及び仕上げ面に水切勾配がついていることが確認できる。								
		<input type="checkbox"/> 架設にあたって、部材の応力と変形等を十分検討していることが確認できる。								
		<input type="checkbox"/> 架設に用いる仮設備及び架設用機材について品質、性能が確保できる規模及び強度を有して確認していることが確認できる。								
		<input type="checkbox"/> 現場塗装部のケレン及び膜厚管理を適切に行っていることが確認できる。								
		<input type="checkbox"/> 天候状況の確認、気温及び湿度の測定を行い、塗装作業を行っていることが確認できる。								
		<input type="checkbox"/> その他( )								
		「品質関係の試験結果のばらつき」								
		<input type="checkbox"/> ばらつきが50%以内								
		<input type="checkbox"/> ばらつきが80%以内								
		<input type="checkbox"/> ばらつきが80%を超える								
		評価率								
		評定	※該当項目が2項目以下の場合はc評価とする。							
		点数								

「判断基準」

	ばらつきで判断可能		
	50%以内	80%以内	80%を超える
90%以上	a	a'	b
75%以上90%未満	a'	b	b'
60%以上75%未満	b	b'	c
60%未満	b'	c	c

※ばらつきで判断できない場合は、品質のばらつきを規格値の80%以内と見なして評価する。



工事成績採点の考査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目に1を入れる。

(土木・検査員用)

評価項目別	工種	a		a'	b		b'	c		d		e
		該当	評価	「評価対象項目」	評価	「評価対象項目」	評価	「評価対象項目」	評価	「評価対象項目」		
3. 出来形及び出来ばえ II. 品質	海岸工事	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価率）から判断する。（判断基準参照）										
				<input type="checkbox"/> コンクリートの配合試験等を行っており、コンクリートの品質（強度・w/c、最大骨材粒径、塩化物総量、単位水量、アルカリ骨材反応抑制等）が確認できる。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、工事監督員が文書で改善指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。						
				<input type="checkbox"/> コンクリート受入時に必要な試験を実施しており、温度・スランプ・空気量等の測定結果が確認できる。								
				<input type="checkbox"/> 圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。								
				<input type="checkbox"/> 運搬時間、打設時の投入高さ、締固時のバイブレータの機種及び養生方法が、施工条件及び気象条件に適しており、定められた条件を満足していることが確認できる。（寒中及び暑中コンクリート等を含む）								
				<input type="checkbox"/> コンクリートの養生が、設計図書仕様を満足していることが確認できる。								
				<input type="checkbox"/> コンクリートの圧縮強度を管理し、必要な強度に達した後に型枠及び支保工の取り外しを行っていることが確認できる。								
				<input type="checkbox"/> コンクリートブロックの転置及び仮置にあたって、強度確認を行っている。								
				<input type="checkbox"/> 転倒や崩壊等がないようコンクリートブロックの仮置を行っていることが確認できる。								
				<input type="checkbox"/> 捨石基礎の均し面を平坦に仕上げていることが確認できる。								
				<input type="checkbox"/> 工事期間中、1日1回は潮位観測を実施して記録していることが確認できる。								
				<input type="checkbox"/> 台風などの異常気象に備えて施工前に避難場所の確保及び退避設備の対策を講じていることが確認できる。								
				<input type="checkbox"/> 有害なクラックがない。								
				<input type="checkbox"/> その他（理由： _____）								
				「品質関係の試験結果のばらつき」								
		<input type="checkbox"/> ばらつきが50%以内 <input type="checkbox"/> ばらつきが80%以内 <input type="checkbox"/> ばらつきが80%を超える										
		評価率										
		評定	※該当項目が2項目以下の場合はc評価とする。									
		点数										

  

		ばらつきで判断可能		
		50%以内	80%以内	80%を超える
評価率	90%以上	a	a'	b
	75%以上90%未満	a'	b	b'
	60%以上75%未満	b	b'	c
	60%未満	b'	c	c

※ばらつきで判断できない場合は、品質のばらつきを規格値の80%以内と見なして評価する。

工事成績採点の審査項目別運用表

【記入方法】 該当する項目に1を入れる。

(土木・検査員用)

評価項目 細	工種	a		a'		b		b'		c		d		e			
		該当	評価	該当	評価	該当	評価	該当	評価	該当	評価	該当	評価	該当	評価		
3. 出来形及び出来ばえ II. 品質	舗装工事	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価率）から判断する。（判断基準参照）															
		<p>「評価対象項目」</p> <p>【路床・路盤工関係】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 設計図書に定められた試験方法でCBR値を測定していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 路床及び路盤工のブルーフローリングを行っていることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 路床及び路盤工（凍上抑制層を含む）の密度管理が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 路盤の施工に先立って、路床面、下層路盤面の浮き石及び有害物を除去してから施工していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 路盤の安定処理は材料が均一になるよう施工していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 路床盛土において、一層の仕上がり厚を20cm以下とし、各層ごとに締固めて施工していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 路床盛土において、構造物の隣接箇所や狭い箇所における締固めが、タンバ等の小型締固め機械により施工していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> その他（理由： _____）</li> </ul> <p>【アスファルト舗装工関係】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> アスファルト混合物の品質が、配合設計等により確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 舗装工の施工にあたって、路盤面の浮き石などの有害物を除去していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> プラント出荷時、現場到着時、舗設時等において、アスファルト混合物の温度管理を記録していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 舗設後の交通の開放が、定められた条件を満足していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 各層の継ぎ目の位置が、設計図書に定められた数値以上であることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 縦継目及び横継目の位置、構造物との接合面の処理等が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> アスファルト混合物の運搬及び舗設にあたって、気象条件を配慮していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 密度管理が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> その他（理由： _____）</li> </ul> <p>【コンクリート舗装工関係】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> コンクリートの配合試験等を行っており、コンクリートの品質（強度・w/c、最大骨材粒径、塩化物総量、単位水量、</li> <li><input type="checkbox"/> 舗装工の施工に先だって、路盤面の浮き石等の有害物を除去してから施工していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており、温度、スランプ、空気量等の測定結果が確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 運搬時間、打設方法及び養生方法が、施工条件及び気象条件に適しており、設計図書に定められた条件を満足していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> コンクリートの養生が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 材料が分離しないようコンクリートを敷均していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> チェア及びダウエルバー等を損傷などが発生しないよう保管していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> その他（理由： _____）</li> </ul>										評価		品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、工事監督員が文書で改善指示を行い改善された。		評価	
評価率		※該当項目が2項目以下の場合はc評価とする。															
評定																	
点数																	

「判断基準」	ばらつきで判断可能		
	50%以内	80%以内	80%を超える
90%以上	a	a'	b
75%以上90%未満	a'	b	b'
60%以上75%未満	b	b'	c
60%未満	b'	c	c

※ばらつきで判断できない場合は、品質のばらつきを規格値の80%以内と見なして評価する。

工事成績採点の考査項目別運用表

〔記入方法〕 該当する項目に1を入れる。

(土・検査員用)

評価項目細別	工種	a	a'	b	b'	c	d	e	
3. 出来形及び出来ばえ II. 品質	法面工事	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価率）から判断する。（判断基準参照）						評価 <input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、工事監督員が文書で改善指示を行い改善された。	評価 <input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。
		該当	評価	「評価対象項目」 【共通】 <input type="checkbox"/> 施工基面を平滑に仕上げていることが確認できる。（特に法枠工、コンクリート又はモルタル吹付工関係） <input type="checkbox"/> 施工に際して、基面の安定や吹き付け材の付着に害となる施工面の浮き石やゴミ等を除去してから施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 盛土の施工にあたり、法面の崩壊が起こらないよう締固めを十分行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 雨水による崩壊が起こらないように、法面にシートをかける等の排水対策を実施していることが確認できる。 その他（理由： ） 【種子吹付工、客土吹付工、植生基材吹付工関係】 <input type="checkbox"/> 土壌試験の結果を施工に反映していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ネットなどの境界に隙間が生じていないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> ネットなどが破損を生じていないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 吹付け厚さが均等であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 使用する材料の種類、品質、配合等が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 施工時期が定められた条件を満足していることが確認できる。 その他（理由： ） 【コンクリート又はモルタル吹付工関係】 <input type="checkbox"/> 使用する材料の種類、品質及び配合が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 金網の重ね幅が、10cm以上確保されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 金網が破損を生じていないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 吸水性の吹付け面において、事前に吸水させてから施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 吹付け厚さが均等であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 吹付け厚さに応じて2層以上に分割して施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 圧縮強度試験に使用したコンクリートの供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 不良箇所が生じないよう跳ね返り材料の処理を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 法肩の吹付けにあたり、地山に沿って巻き込んで施工していることが確認できる。 その他（理由： ） 【現場打法枠工関係（プレキャスト法枠工含む）】 <input type="checkbox"/> 使用する材料の種類、品質及び配合が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> アンカーを設計図書どおりの長さで施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 現場養生が、設計図書の仕様を満足するように実施されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 枠内に空隙がないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 層間にはく離がないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 不良箇所が生じないよう跳ね返り材料の処理を行っていることが確認できる。 その他（理由： ）					
				「品質関係の試験結果のばらつき」 <input type="checkbox"/> ばらつきが50%以内 <input type="checkbox"/> ばらつきが80%以内 <input type="checkbox"/> ばらつきが80%を超える					
		評価率	※該当項目が2項目以下の場合はc評価とする。						
		評定							
		点数							

  

		ばらつきで判断可能		
		50%以内	80%以内	80%を超える
評価率	90%以上	a	a'	b
	75%以上90%未満	a'	b	b'
	60%以上75%未満	b	b'	c
	60%未満	b'	c	c

※ばらつきで判断できない場合は、品質のばらつきを規格値の80%以内と見なして評価する。





工事成績採点の審査項目別運用表

〔記入方法〕 該当する項目に1を入れる。

(土木・検査員用)

評価項目別	工種	a	a'	b	b'	c	d	e	
3. 出来形及び出来ばえ II. 品質	コンクリート橋上部工事（PC及びRCを対象）	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価率）から判断する。（判断基準参照）							
		該当	評価	「評価対象項目」			評価	評価	
				<input type="checkbox"/> コンクリートの配合試験等を行っており、コンクリートの品質（強度・w/c、最大骨材粒径、塩化物総量、単位水量、アルカリ骨材反応抑制等）が確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており、温度、スランプ、空気量等の測定結果が確認できる。 <input type="checkbox"/> 圧縮強度試験に使用したコンクリートの供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 施工条件や気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ及び締固め方法が、定められた条件を満足していることが確認できる。（寒中及び暑中コンクリート等を含む） <input type="checkbox"/> コンクリートの養生が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリートの圧縮強度を管理して、必要な強度に達した後に型枠及び支保工の取り外しを行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 鉄筋の品質が、証明書類で確認できる。 <input type="checkbox"/> 鉄筋の組立及び加工が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 鉄筋の引張強度及び曲げ強度の試験値が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリート打設までにさび、どろ、油等の有害物が鉄筋に付着しないよう管理していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 圧接作業にあたり、作業員の技量確認を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> スペースの品質及び個数が、設計図書に定められた条件を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリート圧縮強度の確認は、構造物と同様な養生条件におかれた供試体を用いていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> プレストレッシング時のコンクリート圧縮強度が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> PC鋼材の緊張及びグラウト注入管理値が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 使用する装置及び機器のキャリブレーションを事前に実施していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> プレベーム桁のプレフレクション管理が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 有害なクラックがない。 <input type="checkbox"/> その他（理由： _____）			<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、工事監督員が文書で改善指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。	
				「品質関係の試験結果のばらつき」 <input type="checkbox"/> ばらつきが50%以内 <input type="checkbox"/> ばらつきが80%以内 <input type="checkbox"/> ばらつきが80%を超える					
		評価率	※該当項目が2項目以下の場合は○評価とする。						
		評定							
		点数							

「判断基準」

		ばらつきで判断可能		
		50%以内	80%以内	80%を超える
評価率	90%以上	a	a'	b
	75%以上90%未満	a'	b	b'
	60%以上75%未満	b	b'	c
	60%未満	b'	c	c

※ばらつきで判断できない場合は、品質のばらつきを規格値の80%以内と見なして評価する。



工事成績採点の審査項目別運用表

〔記入方法〕 該当する項目に1を入れる。

(土木・検査員用)

評価項目別	工種	a	a'	b	b'	c	d	e	
3. 出来形及び出来ばえ II. 品質	トンネル工事	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価率）から判断する。（判断基準参照）							
		該当	評価	「評価対象項目」			評価	評価	
				<input type="checkbox"/> コンクリートの配合試験等を行っており、コンクリートの品質（強度・w/c、最大骨材粒径、塩化物総量、単位水量、アルカリ骨材反応抑制等）が確認ができる。			<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、工事監督員が文書で改善指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。	
				<input type="checkbox"/> コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており、温度、スランプ、空気量等の測定結果が確認できる。					
				<input type="checkbox"/> 圧縮強度試験に使用したコンクリートの供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。					
				<input type="checkbox"/> 施工条件や気象条件に適した運搬時間、打設方法及び締固め方法が、定められた条件を満足していることが確認できる。					
				<input type="checkbox"/> コンクリートの養生が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。					
				<input type="checkbox"/> 吹付コンクリートの配合及びロックボルトの種類、規格が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。					
				<input type="checkbox"/> 設計図書に定められた岩区分（支保工パターン含む）の境界を確認して施工を行っていることが確認できる。					
				<input type="checkbox"/> 坑内観察調査などについて、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。					
				<input type="checkbox"/> 計測管理を日々行っており、その結果に基づいた施工を行っていることが確認できる。					
				<input type="checkbox"/> 金網の継ぎ目を15cm以上重ね合わせて施工していることが確認できる。					
				<input type="checkbox"/> 吹付コンクリートの施工にあたって、浮石等を除いた後に、吹付コンクリートの一層の厚さが15cm以下で地山と密着するよう施工していることが確認できる。					
				<input type="checkbox"/> 吹付コンクリートを打継ぎする場合は、吹付完了面を清掃した上、湿潤状態で施工していることが確認できる。					
				<input type="checkbox"/> ロックボルトの定着長が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。					
		<input type="checkbox"/> 防水工に防水シートを使用する場合は、ロックボルト等の突起物にモルタルや保護マット等で防護対策を行っていることが確認できる。							
		<input type="checkbox"/> 逆巻きの場合において、側壁コンクリートとアーチコンクリートの打継ぎが同一線上で施工していないことが確認できる。							
		<input type="checkbox"/> 有害なクラックがない。							
		<input type="checkbox"/> その他（理由： _____）							
		「品質関係の試験結果のばらつき」							
		<input type="checkbox"/> ばらつきが50%以内							
		<input type="checkbox"/> ばらつきが80%以内							
		<input type="checkbox"/> ばらつきが80%を超える							
		評価率							
		評定	※該当項目が2項目以下の場合はc評価とする。						
		点数							

  

	ばらつきで判断可能		
	50%以内	80%以内	80%を超える
90%以上	a	a'	b
75%以上90%未満	a'	b	b'
60%以上75%未満	b	b'	c
60%未満	b'	c	c

※ばらつきで判断できない場合は、品質のばらつきを規格値の80%以内と見なして評価する。

工事成績採点の審査項目別運用表

【記入方法】 該当する項目に1を入れる。

(土木・検査員用)

評価項目別	工種	a	a'	b	b'	c	d	e	
3. 出来形及び出来ばえ II. 品質	植栽工事	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価率）から判断する。（判断基準参照）							
		該当	評価	「評価対象項目」			評価		
				<input type="checkbox"/> 活着が促されるよう管理していることが確認できる。			<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、工事監督員が文書で改善指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。	
				<input type="checkbox"/> 樹木などに損傷、はちくずれ等がないよう保護養生を行っていることが確認できる。					
				<input type="checkbox"/> 樹木等の生育に害のある害虫等がないことが確認できる。					
				<input type="checkbox"/> 施工完了後、余剰枝の剪定、整形その他必要な手入れを行っていることが確認できる。					
				<input type="checkbox"/> 肥料が直接樹木の根に触れないよう均一に施肥していることが確認できる。					
				<input type="checkbox"/> 植生する樹木に応じて、余裕のある植穴を掘り植穴底部を耕していることが確認できる。					
				<input type="checkbox"/> 添木をぐらつきがないよう設置していることが確認できる。					
				<input type="checkbox"/> 樹名板を視認しやすい場所に据付けていることが確認できる。					
				<input type="checkbox"/> その他（理由： _____）					
				「品質関係の試験結果のばらつき」					
		<input type="checkbox"/> ばらつきが50%以内							
		<input type="checkbox"/> ばらつきが80%以内							
		<input type="checkbox"/> ばらつきが80%を超える							
	評価率								
	評定	※該当項目が2項目以下の場合はc評価とする。							
	点数								

  

		ばらつきで判断可能		
		50%以内	80%以内	80%を超える
評価率	90%以上	a	a'	b
	75%以上90%未満	a'	b	b'
	60%以上75%未満	b	b'	c
	60%未満	b'	c	c

※ばらつきで判断できない場合は、品質のばらつきを規格値の80%以内と見なして評価する。



工事成績採点の考査項目別運用表

〔記入方法〕 該当する項目に1を入れる。

(土木・検査員用)

評価項目別	工種	a	a'	b	b'	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ II. 品質	河川工事	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価率）から判断する。（判断基準参照）						
		該当	評価	「評価対象項目」			評価	評価
				【河川土工（築堤工等）】 <input type="checkbox"/> 段切りを設計図書に基づき行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 掘削を行うにあたり、床付面以下を乱さないように施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 締固めが設計図書に定められた条件を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 一層あたりのまき出し厚を管理していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 植生工を設計図書に定められた条件で行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 構造物周辺の締固めを設計図書に定められた条件で行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 法面に有害な亀裂がない。 <input type="checkbox"/> 伐開除根作業が設計図書に定められた条件を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他（理由： ） 【護岸・根固、水制工】 <input type="checkbox"/> 施工基面を平滑に仕上げていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 基礎工において、掘り過ぎがなく施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 施工にあたって、床掘箇所の湧水及び滞水等は、排除して施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 裏込材及び胴込めコンクリートの締固めを空隙が生じないよう十分に行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 緑化ブロック、石積（張）、法枠、かごマット等における材料のかみ合わせ又は連結が、裏込材の吸出しがないよう行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 石積（張）工において、大きさ及び重さが設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 護岸工の端部や曲線部の処理が適切であり、必要な強度及び水密性を確保していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> シートが所定の幅で重ね合わせられ、端部処理が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 根固工、水制工、沈床工、捨石工等において、材料の連結及びかみ合わせが設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 材料の品質が、証明書類で確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリートブロック等を損傷なく設置していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 埋戻し材料について、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 有害なクラックがない。 <input type="checkbox"/> その他（理由： ）			<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、工事監督員が文書で改善指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。
				「品質関係の試験結果のばらつき」 <input type="checkbox"/> ばらつきが50%以内 <input type="checkbox"/> ばらつきが80%以内 <input type="checkbox"/> ばらつきが80%を超える				
		評価率		※該当項目が2項目以下の場合は○評価とする。				
		評定						
		点数						

  

評価率	ばらつきで判断可能			
	50%以内	80%以内	80%を超える	
90%以上	a	a'	b	
75%以上90%未満	a'	b	b'	
60%以上75%未満	b	b'	c	
60%未満	b'	c	c	

※ばらつきで判断できない場合は、品質のばらつきを規格値の80%以内と見なして評価する。

工事成績採点の審査項目別運用表

〔記入方法〕 該当する項目に1を入れる。

(土木・検査員用)

評価項目別	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																									
3. 出来形及び出来ばえ II. 品質	下水道工事	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価率）から判断する。（判断基準参照）																															
		該当	評価	「評価対象項目」			評価	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、工事監督員が文書で改善指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。																								
				<input type="checkbox"/> 使用する材料の種類、品質等が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。			<input type="checkbox"/>																										
				<input type="checkbox"/> 管渠止において止水滑材や接着剤等のはみ出し等がないことが確認できる。																													
				<input type="checkbox"/> 推進管の裏込め材料が十分充填されていることが確認できる。																													
				<input type="checkbox"/> マンホールの足掛金物が正確かつ堅固に取り付けられ、ゆるみを生じていないことが確認できる。																													
				<input type="checkbox"/> 管渠、マンホール、インパート等からの漏水がないことが確認できる。																													
				<input type="checkbox"/> インパートの表面が、接続管の直径、管底に合わせて滑らかに仕上がっていることが確認できる。																													
				<input type="checkbox"/> 管渠、取り付け管等の目立った屈曲や沈下がないことが確認できる。																													
				<input type="checkbox"/> 掘削を行うにあたり、床付面以下を乱さないように施工していることが確認できる。																													
				<input type="checkbox"/> 締固めが設計図書に定められた条件を満足していることが確認できる。																													
				<input type="checkbox"/> 一層あたりのまき出し厚を管理していることが確認できる。																													
				<input type="checkbox"/> 構造物周辺の締固めを設計図書に定められた条件で行っていることが確認できる。																													
				<input type="checkbox"/> 舗装復旧工が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。																													
				<input type="checkbox"/> 縁石・柵・標識等の道路附属物の復旧が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。																													
		<input type="checkbox"/> その他（理由： _____）																															
		「品質関係の試験結果のばらつき」			「判断基準」																												
		<input type="checkbox"/> ばらつきが50%以内			<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>50%以内</th> <th>80%以内</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="4">評価率</th> <th>90%以上</th> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> </tr> <tr> <th>75%以上90%未満</th> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <th>60%以上75%未満</th> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> </tr> <tr> <th>60%未満</th> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>				ばらつきで判断可能					50%以内	80%以内	80%を超える	評価率	90%以上	a	a'	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	60%未満	b'	c	c
		ばらつきで判断可能																															
		50%以内	80%以内	80%を超える																													
評価率	90%以上	a	a'	b																													
	75%以上90%未満	a'	b	b'																													
	60%以上75%未満	b	b'	c																													
	60%未満	b'	c	c																													
		<input type="checkbox"/> ばらつきが80%以内			※ばらつきで判断できない場合は、品質のばらつきを規格値の80%以内と見なして評価する。																												
		<input type="checkbox"/> ばらつきが80%を超える																															
	評価率																																
	評定	※該当項目が2項目以下の場合はc評価とする。																															
	点数																																

工事成績採点の審査項目別運用表

〔記入方法〕 該当する項目に1を入れる。

(土木・検査員用)

評価項目別	工種	a	a'	b	b'	c	d	e	
3. 出来形及び出来ばえ II. 品質	防護柵(網)・標識・区画線等設置工事	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価率)から判断する。(判断基準参照)							
		該当	評価	「評価対象項目」			評価	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、工事監督員が文書で改善指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。
				<input type="checkbox"/> 防護柵設置要綱、視線誘導標設置基準、道路標識ハンドブック等の規定を満足していることが確認できる。			<input type="checkbox"/>		
				<input type="checkbox"/> 防護柵等の床掘りの仕上がり面において、地山の乱れや不陸が生じないように施工していることが確認できる。					
				<input type="checkbox"/> 防護柵等の基礎工の施工にあたって、無筋及び鉄筋コンクリートの規定を満足していることが確認できる。					
				<input type="checkbox"/> 防護柵等の支柱の施工にあたって、既設舗装面へ影響がないよう施工していることが確認できる。					
				<input type="checkbox"/> 防護柵の支柱の根入長が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。					
				<input type="checkbox"/> ガードケーブルを支柱に取付ける場合、設計図書に定められた所定の張力を与えているのが確認できる。					
				<input type="checkbox"/> ガードケーブルの端末支柱を土中に設置する場合、打設したコンクリートが設計図書に定められた強度以上であることが確認できる。					
				<input type="checkbox"/> ペイント式(常温式)区画線にシナーを使用する場合、使用量が10%以下であることが確認できる。					
				<input type="checkbox"/> 区画線の厚さが見本等で設計図書の仕様を満足していることが確認できる。					
				<input type="checkbox"/> 区画線施工後の屋間及び夜間の視認性が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。					
				<input type="checkbox"/> 区画線の施工にあたって 設置路面の水分、泥、砂じん及びほこりを取り除いて行っていることが確認できる。					
				<input type="checkbox"/> 区画線を消去の場合、標示材(塗料)のみの除去となっており、路面への影響が最小限となっていることが確認できる。					
				<input type="checkbox"/> プライマーの施工にあたって、路面に均等に塗布していることが確認できる。					
		<input type="checkbox"/> 区画線の材料が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。							
		<input type="checkbox"/> その他(理由: )							
		「品質関係の試験結果のばらつき」							
		<input type="checkbox"/> ばらつきが50%以内							
		<input type="checkbox"/> ばらつきが80%以内							
		<input type="checkbox"/> ばらつきが80%を超える							
		評価率							
		評定	※該当項目が2項目以下の場合はc評価とする。						
		点数							

  

		ばらつきで判断可能		
		50%以内	80%以内	80%を超える
評価率	90%以上	a	a'	b
	75%以上90%未満	a'	b	b'
	60%以上75%未満	b	b'	c
	60%未満	b'	c	c

※ばらつきで判断できない場合は、品質のばらつきを規格値の80%以内と見なして評価する。

工事成績採点の考査項目別運用表

〔記入方法〕 該当する項目に1を入れる。

(土木・検査員用)

評価項目細	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																										
3. 出来形及び出来ばえ II. 品質	管水路工事	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価率）から判断する。（判断基準参照）																																
		該当	評価	「評価対象項目」			評価	評価																										
				<input type="checkbox"/> 材料の品質が証明書類で確認できる。 <input type="checkbox"/> 管及び付属品は、設計図書の仕様に基づき適切に保管されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 設計図書に示された掘削断面が確保され、床付面以下を乱さないように施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 管の布設にあたり、標高、中心線、配管延長が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 管体の接合は、設計図書に基づき施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 管の下部、側部の締め固めが設計図書に定められた条件で施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 配管作業で管内部への土砂等の流入防止に対する措置をしていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 管の吊り込み、据付は十分な注意を払っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリートの配合試験等を行っており、コンクリートの品質（強度・W/C、最大骨材粒径、塩化物総量、単位水量、アルカリ骨材反応抑制等）が確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリートの受け入れ時に必要な試験を実施しており、温度、スランプ、空気量等の測定結果が確認できる。 <input type="checkbox"/> 圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 施工条件や気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ及び締め固め方法が、定められた条件を満足していることが確認できる。（寒中及び暑中コンクリート等を含む） <input type="checkbox"/> コンクリート養生が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリートの圧縮強度を管理し、必要な強度に達した後に型枠及び支保工の取り外しを行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 鉄筋の組立及び加工が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> スペーサーの品質及び個数が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 通水試験（継ぎ目、水張り、水圧）が、設計図書に基づき行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他（理由： _____）			<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、工事監督員が文書で改善指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。																										
				「品質関係の試験結果のばらつき」			<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> </tr> <tr> <th>50%以内</th> <th>80%以内</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="4">評価率</th> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>					ばらつきで判断可能			50%以内	80%以内	80%を超える	評価率	90%以上	a	a'	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	60%未満	b'	c	c
				ばらつきで判断可能																														
				50%以内	80%以内	80%を超える																												
		評価率	90%以上	a	a'	b																												
			75%以上90%未満	a'	b	b'																												
			60%以上75%未満	b	b'	c																												
			60%未満	b'	c	c																												
		評価率		※該当項目が2項目以下の場合は○評価とする。			※ばらつきで判断できない場合は、品質のばらつきを規格値の80%以内と見なして評価する。																											
		評定																																
		点数																																

工事成績採点の審査項目別運用表

〔記入方法〕 該当する項目に1を入れる。

(土木・検査員用)

評価項目別	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																											
3. 出来形及び出来ばえ II. 品質	フィルダム工事	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価率）から判断する。（判断基準参照）																																	
		該当	評価	「評価対象項目」			評価	評価																											
				<input type="checkbox"/> 設計図書に定められた品質管理を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 材料の品質が証明書類で確認できる。 <input type="checkbox"/> 基礎処理施工要領書及び盛り立て要領書に示された規定に従い適切に実施していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 堤体盛立面及び法面は凹凸がなく仕上げられていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 降雨等による影響を避けるためシートかけ等の排水対策を実施していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 気象条件を考慮した施工が確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリートの配合試験等を行っており、コンクリートの品質（強度・W/C、最大骨材粒径、塩化物総量、単位水量、アルカリ骨材反応抑制等）が確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリートの受け入れ時に必要な試験を実施しており、温度、スランプ、空気量等の測定結果が確認できる。 <input type="checkbox"/> 圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 施工条件や気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ及び締固め方法が、定められた条件を満足していることが確認できる。（寒中及び暑中コンクリート等を含む） <input type="checkbox"/> コンクリート養生が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリートの圧縮強度を管理し、必要な強度に達した後に型枠及び支保工の取り外しを行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 鉄筋の組立及び加工が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> スペースの品質及び個数が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他（理由： ）			<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、工事監督員が文書で改善指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。																											
				「品質関係の試験結果のばらつき」 <input type="checkbox"/> ばらつきが50%以内 <input type="checkbox"/> ばらつきが80%以内 <input type="checkbox"/> ばらつきが80%を超える																															
		評価率		※該当項目が2項目以下の場合はc評価とする。																															
		評定																																	
		点数																																	
		「判断基準」 <table border="1" style="float: right; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> </tr> <tr> <th>50%以内</th> <th>80%以内</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="4">評価率</th> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ばらつきで判断できない場合は、品質のばらつきを規格値の80%以内と見なして評価する。</p>											ばらつきで判断可能			50%以内	80%以内	80%を超える	評価率	90%以上	a	a'	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	60%未満	b'	c	c
				ばらつきで判断可能																															
				50%以内	80%以内	80%を超える																													
		評価率	90%以上	a	a'	b																													
			75%以上90%未満	a'	b	b'																													
			60%以上75%未満	b	b'	c																													
			60%未満	b'	c	c																													

工事成績採点の審査項目別運用表

〔記入方法〕 該当する項目に1を入れる。

(土木・検査員用)

評価項目 細別	工種	a		a'	b	b'	c	d	e
		該当	評価	「評価対象項目」	評価	評価			
3. 出来形 及び出来 ばえ II. 品質	施設機械 設備工事 (用排水 ポンプ・ 水門設 備・除塵 設備・鋼 製付属 品)	品質のばらつきを規格値の80%以内と見なし、該当項目の達成度により評価する。							
				<input type="checkbox"/> 材料の品質が証明書類で確認できる。 <input type="checkbox"/> 設備の機能及び性能が、承諾図書のとおり確保され、品質の確認ができる。 <input type="checkbox"/> 設計図書の仕様を踏まえた詳細設計を行い、承諾図書として提出していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 機器の機能及び性能に係わる成績書が整理され、品質の確認ができる。 <input type="checkbox"/> 塗装の品質管理について、設計図書に示すとおり施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 据付基準線及び基準高は設計図書のとおり施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 配電盤類の関係諸基準に基づき各種試験を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 操作制御設備について操作スイッチや表示灯が承諾図書のとおり配置され、正常に動作したことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 操作制御設備の安全装置及び保護装置の機能・性能は、試験成績書類が提出され品質確認ができる。 <input type="checkbox"/> 電線類の接続部が適切に処理されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 小配管、電気配線、配管が承諾図書の通り敷設されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 設備の取扱説明書は、分かりやすく工夫されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 取扱説明書には、部品等の点検及び交換方法、消耗品リスト等が整備されている。 <input type="checkbox"/> 設備構造や機器の配置は、保守・点検作業を容易にできるよう工夫していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 基礎ボルトは承諾図書のとおり配置され、適切に締付を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> シーケンス（操作手順）に従い正常に動作したことが確認できる。 <input type="checkbox"/> ビット内の電線類は行き先札が取り付けられ整然と配置されている。 <input type="checkbox"/> 地中電線路等は適切な深さ及び間隔で配置されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 設置工事は適切な深さと関係諸基準に基づき配置されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 溶接の品質管理について、設計図書に示すとおり施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 二次コンクリートの配合試験等を実施し、試験成績表にまとめていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> バルブ類の平時の状態を示すラベルなどを見やすい状態で表示されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 計器類には、運転時の適用範囲が見やすく表示されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 回転部や高温部等の危険箇所には、表示又は防護をしていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他（理由： ）		<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、工事監督員が文書で改善指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。		
				該当項目の内達成項目が90%以上…………… a' 該当項目の内達成項目が75%～90%未満… b 該当項目の内達成項目が60%～75%未満… b' 該当項目の内達成項目が60%未満…………… c					
				※評価対象項目が2項目以下の場合はc評価とする。					
				評価率					
				評定					
				点数					

工事成績採点の審査項目別運用表

〔記入方法〕 該当する項目に1を入れる。

(土木・検査員用)

評価項目別	工種	a	a'	b	b'	c	d	e	
3. 出来形及び出来ばえ II. 品質	維持工事	該当	「評価対象項目」				評価	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、工事監督員が文書で改善指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。
			<input type="checkbox"/> 使用する材料の品質・形状等が適切であり、かつ現場において材料確認を適宜・的確に行っていることが確認できる。						
			<input type="checkbox"/> 構造物の劣化状況をよく把握して、適切な対策を施していることが確認できる。						
			<input type="checkbox"/> 工事監督員の指示事項に対して、現地状況を勘案し、施工方法や構造についての提案を行うなど積極的に取り組んでいることが確認できる。						
			<input type="checkbox"/> 緊急的な作業において、迅速かつ適切に対応していることが確認できる。						
			<input type="checkbox"/> 理由 ( )						
			<input type="checkbox"/> 理由 ( )						
			<input type="checkbox"/> 理由 ( )						
			<input type="checkbox"/> 理由 ( )						
			※記載の4項目を必須の評価対象項目とし、この他に適宜項目を追加して評価するものとする。ただし、審査項目は最大8項目とする。						
			※該当項目が6項目以上・・・・・・・・・・ a						
			該当項目が5項目・・・・・・・・・・ a'						
			該当項目が4項目・・・・・・・・・・ b						
			該当項目が3項目・・・・・・・・・・ b'						
			該当項目が2項目以下・・・・・・・・・・ c						
		評価							
		点数							

工事成績採点の審査項目別運用表

〔記入方法〕 該当する項目に1を入れる。

(土木・検査員用)

評価項目別	工種	a		a'	b		b'	c	d		e		
		該当	評価	「評価対象項目」	評価	評価	評価						
3. 出来形及び出来ばえ Ⅱ. 品質	浚渫工事	品質のばらつきを規格値の80%以内と見なし、該当項目の達成度により評価する。											
				<input type="checkbox"/> 作業現場の土質条件、海象条件、周辺海域の利用状況等を考慮して、安全、かつ、効率的な作業が可能な作業船を選定していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 濁水位、平水位、最高水位、潮位及び潮流・波浪等の状況を十分に把握して施工されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 既設構造物に影響のないよう十分に検討して施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 河川浚渫において、洪水に備え避難場所の確保及び退避設備の対策を講じていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 施工区域に標識等を設置していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 濁り防止等環境保全に十分注意して施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 施工の効率、周辺海域等の利用状況等を考慮して、浚渫土砂の運搬径路を決定していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 浚渫土砂の運搬途中において、漏出を起こしていないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 設計図書に土砂処分の区域及び運搬方法の定めがある場合、それに従っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他（理由： _____）	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、工事監督員が文書で改善指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。							
				該当項目の内達成項目が90%以上…… a'									
				該当項目の内達成項目が75%～90%未満… b									
				該当項目の内達成項目が60%～75%未満… b'									
				該当項目の内達成項目が60%未満…… c									
			評価率										
			評定	※評価対象項目が2項目以下の場合はc評価とする。									
			点数										



工事成績採点の審査項目別運用表

【記入方法】 該当する項目に1を入れる。

(土木・検査員用)

評価項目 細別	工種	a	a'	b	b'	c	d	e		
3. 出来形及び出来ばえ II. 品質	農地造成工事(面関係・隔障物)	品質のばらつきを規格値の80%以内と見なし、該当項目の達成度により評価する。								
		該当	評価	「評価対象項目」				評価	評価	
				【共通関係】				<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、工事監督員が文書で改善指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。	
				<input type="checkbox"/> 材料の品質が証明書類で確認できる。 <input type="checkbox"/> 用地境界、使用条件等の確認が適切に行っていることが確認できる。						
				【面工事関係】						
				<input type="checkbox"/> 抜根、排根で根ぶるい、反転により樹根の付着土が脱落していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 石レキの付着土が脱落していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 石レキ除去で、レキの堆積場所について、ほ場毎に堆積位置計画図を作成し工事監督員の承諾を受けて施工していることが確認できる。						
				<input type="checkbox"/> 排レキの堆積に当たり、レキ以外の排除物と区分し排除レキ量が計測しやすいように堆積していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 石レキ除去後の跡地は、平らに均されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 盛土法尻仕上げが適切な条件で施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 表土厚の事前調査が適切に実施していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 樹根、レキ等の支障物が除去されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 表土はぎ取りは、雑物等が混入しないように注意して施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 降雨後など、ほ場の泥濘化を助長するような機械作業を行っていないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 表土の基盤への混入や逸散がなく、集積した表土の流亡対策を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 基盤の盛り立てが適切に行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 降雨等による影響を避けるためシートかけ等の排水対策を実施していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 砕土は、適度な耕土の水分状態のときに行い、土壤改良資材との効果的な混合が図られている。 <input type="checkbox"/> 種子や土壤改良資材は、設計図書の仕様に基づき適切に保管されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ほ場毎に資材の使用量がわかりやすく整理されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 土壤改良資材は、所定量を均等に散布するよう留意して行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 播種は、強風・降雨・干天を避け行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 施肥播種は、設計図書の仕様に基づき適切な時期に行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 鎮圧は、機械器具に耕土が付着する状態を避け行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 鎮圧は、播種後速やかに行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 心土破碎は施工前にほ場毎に、けん引方向の計画をたて、工事監督員の承諾を受けてから施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 心土破碎のけん引方向及び深さや間隔が、適切に施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 心土破碎は良好な時期を選んで作業していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他(理由: )						
				【隔障物関係】						
				<input type="checkbox"/> 隔障物の本柱にキズ、塗装に損傷がないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 隔障物の本柱の打ち込みは、緩衝材を用いていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他(理由: )						
				該当項目の内達成項目が90%以上..... a'						
				該当項目の内達成項目が75%~90%未満... b						
				該当項目の内達成項目が60%~75%未満... b'						
				該当項目の内達成項目が60%未満..... c						
				評価率						
				評定	※評価対象項目が2項目以下の場合はc評価とする。					
		点数								







工事成績採点の審査項目別運用表

〔記入方法〕 該当する項目に1を入れる。

(土木・検査員用)

評価項目 細別	工種	a		a'	b		b'	c	d		e
		該当	評価	「評価対象項目」	評価	評価					
3. 出来形及び出来ばえ II. 品質	電気通信 設備工事	品質のばらつきを規格値の80%以内と見なし、該当項目の達成度により評価する。									
				<input type="checkbox"/> 製作着手前に、品質や性能の確保に係る技術検討が実施していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 材料・部品の品質照合の結果が品質保証書等（現物照合を含む）で確認でき、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 機器の品質、機能及び性能が設計図書を満足して、成績書にまとめられていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 操作スイッチや表示灯が承諾図書のとおり配置され、操作性に優れていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 地中電線路等は適切な深さ及び間隔で配置されている。 <input type="checkbox"/> 設置工事は適切な深さと関係諸基準に基づき配置されている。 <input type="checkbox"/> ケーブル及び配管の接続などの作業が、施工計画書に記載された手順に沿って行われ、不具合がないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 設備の機能及び性能が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 操作制御関係の機能及び性能が、設計図書の仕様を満足しているとともに、必要な安全装置及び保護装置の作動が確認できる。 <input type="checkbox"/> 設備の総合性能が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 現場条件によって機器(製品)の機能及び性能が確認できない場合において、工場試験などで確認していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 設備全体についての取扱説明書を工夫し作成（修繕（改造・更新含む）の場合は、修正又は更新）していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 完成図書で定期的な点検や交換を要する部品及び箇所を明示していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 設備の構造において、点検や消耗品の取替え作業が容易にできるよう工夫していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他（理由： _____）		<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、工事監督員が文書で改善指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。				
				該当項目の内達成項目が90%以上…………… a'							
				該当項目の内達成項目が75%～90%未満… b							
				該当項目の内達成項目が60%～75%未満… b'							
				該当項目の内達成項目が60%未満…………… c							
				評価率							
				評定	※評価対象項目が2項目以下の場合はc評価とする。						
				点数							

工事成績採点の考査項目別運用表

【記入方法】該当する項目に1を入れる。

(土主・検査員用)

評価項目 3. 出来形及び出来 え	工種	a		a'		b		b'		c		d		e	
		該当	評価	該当	評価	該当	評価	該当	評価	該当	評価	該当	評価	該当	評価
II. 品質	外構工事	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価率)から判断する。(判断基準参照)													
		<p>【土工】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 締固めが設計図書に定められた条件を満足していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 一層あたりのまき出し厚を管理していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 構造物周辺の締固めを設計図書に定められた条件で行っていることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 掘削を行うに当たり、床付面以下を乱さないように施工していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 接切りを設計図書に基づき行っていることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 法面に有害な亀裂がない。</li> <li><input type="checkbox"/> 伐間除根作業が設計図書に定められた条件を満足していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> その他(理由 )</li> <li>【路床・路盤工関係】</li> <li><input type="checkbox"/> 路床及び路盤工(凍上抑制層を含む)の密度管理が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 路盤の安定処理は材料が均一になるよう施工していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 路盤の施工に先立って、路床面、下層路盤面の浮き石及び有害物を除去してから施工していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 路床盤土において、一層の仕上がり厚を20cm以下とし、各層ごとに締固めて施工していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 路床盤土において、構造物の隣接箇所や狭い箇所における締固めが、タンパ等の小型締固め機械により施工していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> その他(理由 )</li> <li>【アスファルト舗装工関係】</li> <li><input type="checkbox"/> アスファルト混合物の品質が、配合設計等により確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> フラント出荷時、現場到着時、舗設時において、アスファルト混合物の温度管理を記録していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 舗装工の施工にあたって、路盤面の浮き石などの有害物を除去していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 各層の継ぎ目の位置が、設計図書に定められた数値以上であることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 縦継目及び横継目の位置、構造物との接合面の処理等が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> アスファルト混合物の運搬及び舗設にあたって、気象条件を配慮していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 密度管理が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> その他(理由 )</li> <li>【コンクリート工関係】</li> <li><input type="checkbox"/> コンクリートの配合試験等を行っており、コンクリートの品質(強度・w/c、最大骨材粒径、塩化物総量、単位水量、アルカリ骨材反応抑制等)が確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> コンクリート投入時に必要な試験を実施しており、温度、スランプ、空気量等の測定結果が確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が、当該現場供試体である。</li> <li><input type="checkbox"/> 施工条件や気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ及び締固め方法が、定められた条件を満足していることが確認できる。(寒中及び曇中コンクリート等を含む)</li> <li><input type="checkbox"/> コンクリートの養生が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> コンクリートの圧縮強度を管理し、必要な強度に達した後に型枠及び支保工の取り外しを行っていることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> コンクリートの打設前、打継ぎ目処理を適切に行っていることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 鉄筋の品質が、証明書類で確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> コンクリート打設までにさび、どろ、油等の有害物が鉄筋に付着しないよう管理していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 鉄筋の組立及び加工が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 圧接作業に当たり、作業員の技量確認を行っていることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> スペーサーの品質及び個数が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 有害なクラックがない。</li> <li><input type="checkbox"/> その他(理由 )</li> <li>【基礎工事関係(地盤改良を含む)】</li> <li><input type="checkbox"/> 杭に損傷及び補修痕がないことが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 既製杭の打止めの管理の方法及び場所打ち杭の施工管理の方法が整備されており、その記録を整理していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 杭頭処理において、杭本体を損傷していないことが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 水平度、鉛直度等が、設計図書を満足していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 溶解の品質管理に関して、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 支持地盤に達していることが、掘削深さ、掘削土砂等により確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 場所打杭について、トレミー管をコンクリート内に2m以上挿入して施工していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 掘削深さ、排出土砂、孔内水位の変動及び安定液を用いる場合の孔内の安定液濃度並びに比重等が、設計図書を満足していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 配筋、スペーサーの配置及びコンクリート打設等が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 強度確認、セメントミルクの比重管理などの品質に係る事項の管理資料を整理していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 改良材の管理記録が整理され、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> セメントミルクの比重、スラリー噴出量、強度等の管理資料を整理していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 事前に土質試験を実施し、改良材の選定、必要添加量の設定等を行っていることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 施工箇所が均一に改良されているとともに、十分な強度及び支持力を確保していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> その他(理由 )</li> <li>【排水工関係(暗渠排水を含む)】</li> <li><input type="checkbox"/> 製品に損傷及び補修痕がないことが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 暗渠の流下勾配が確保されている。</li> <li><input type="checkbox"/> その他(理由 )</li> <li>【植生・植栽工関係】</li> <li><input type="checkbox"/> 植生を設計図書に定められた条件で行っていることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 活着が保たれるよう管理していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 樹木などに損傷、はちくずれ等がないよう保護養生を行っていることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 樹木等の生育に害のある害虫等がないことが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 施工完了後、余剰枝の剪定、整形その他必要な手入れを行っていることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 肥料が直接樹木の根に触れないよう均一に施肥していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 植生する樹木に応じて、余剰のある補欠を掘り込みを併せていることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 添木をぐらつきがないよう設置していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> その他(理由 )</li> <li>【グラウンド・コート舗装工関係】</li> <li><input type="checkbox"/> グラウンド・コート舗装工に使用する材料の品質が、証明書類で確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 密度管理が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> その他(理由 )</li> <li>【その他施設関係】</li> <li><input type="checkbox"/> 摺等の鋼製品・コンクリート製品等が設計図書等に定められた条件を満足していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 遊戯施設等の機能と安全性が設計図書等に定められた条件を満足していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> その他(理由 )</li> </ul> <p>「品質関係の試験結果のばらつき」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> ばらつきが50%以内</li> <li><input type="checkbox"/> ばらつきが80%以内</li> <li><input type="checkbox"/> ばらつきが80%を超える</li> </ul>													
評価率															
採点															
点数															

※該当項目が2項目以下の場合にはc評価とする。

※ばらつきで判断できない場合は、品質のばらつきを規格値の80%以内と見なして評価する。

評価率	ばらつきで判断可能		
	50%以内	80%以内	80%を超える
90%以上	a	a	b
75%以上90%未満	a'	b	b'
60%以上75%未満	b	b'	c
60%未満	b'	c	c

工事成績採点の審査項目別運用表

〔記入方法〕 該当する項目に 1 を入れる。

(土木・検査員用)

評価項目別	工種	a	a'	b	b'	c	d	e	
3. 出来形及び出来ばえ II. 品質	修繕工事	該当	「評価対象項目」				評価	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、工事監督員が文書で改善指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。
			<input type="checkbox"/> 使用する材料の品質・形状等が適切であり、かつ現場において材料確認を適宜・的確に行っていることが確認できる。						
			<input type="checkbox"/> 構造物の劣化状況をよく把握して、適切な対策を施していることが確認できる。						
			<input type="checkbox"/> 工事監督員の指示事項に対して、現地状況を勘案し、施工方法や構造についての提案を行うなど積極的に取り組んでいることが確認できる。						
			<input type="checkbox"/> 施工後のメンテナンスに対する提言や修繕サイクル等を勘案した提案等を行っていることが確認できる。						
			<input type="checkbox"/> 理由 ( )						
			<input type="checkbox"/> 理由 ( )						
			<input type="checkbox"/> 理由 ( )						
			<input type="checkbox"/> 理由 ( )						
			※記載の 4 項目を必須の評価対象項目とし、この他に適宜項目を追加して評価するものとする。ただし、審査項目は最大 8 項目とする。						
			※該当項目が 6 項目以上 . . . . . a						
			該当項目が 5 項目以上 . . . . . a'						
			該当項目が 4 項目以上 . . . . . b						
			該当項目が 3 項目以上 . . . . . b'						
			該当項目が 2 項目以上 . . . . . c						
	評価								
	点数								

工事成績採点の審査項目別運用表

【記入方法】 該当する項目に1を入れる。

(土木・検査員用)

評価項目別	工種	a	a'	b	b'	c	d	e		
3. 出来形及び出来ばえ II. 品質	急傾斜地崩壊防止工事	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価率）から判断する。（判断基準参照）					評価	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、工事監督員が文書で改善指示を行い改善された。	評価	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。
		該当	評価	「評価対象項目」						
				【共通】 <input type="checkbox"/> 材料の品質が証明書類で確認できる。 【土工】 <input type="checkbox"/> 施工面を平滑に仕上げていることが確認できる。（特に法砕工、コンクリート又はモルタル吹付工関係） <input type="checkbox"/> 施工に際して、基面の安定や吹き付け材の付着に害となる施工面の浮き石やゴミ等を除去してから施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 盛土の施工にあたり、法面の崩壊が起こらないよう締固めを十分行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 雨水による崩壊が起こらないように、法面にシートをかける等の排水対策を実施していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 段切りを設計図書に基づき行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 伐開除根作業が設計図書に定められた条件を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 構造物周辺の締固めを設計図書に定められた条件で行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 土羽土の土質が設計図書を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 法面に有害な亀裂がない。 <input type="checkbox"/> その他（理由： ） 【種子吹付工、客土吹付工、植生基材吹付工関係】 <input type="checkbox"/> 土壌試験の結果を施工に反映していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ネットなどの境界に隙間が生じていないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> ネットなどが破損を生じていないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 吹付け厚さが均等であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 使用する材料の種類、品質、配合等が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 施工時期が定められた条件を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他（理由： ） 【コンクリート又はモルタル吹付工関係】 <input type="checkbox"/> 使用する材料の種類、品質及び配合が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 金網の重ね幅が、10cm以上確保されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 金網が破損を生じていないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 吸水性の吹付け面において、事前に吸水させてから施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 吹付け厚さが均等であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 吹付け厚さに応じて2層以上に分割して施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 圧縮強度試験に使用したコンクリートの供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 不良箇所が生じないよう跳ね返り材料の処理を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 法肩の吹付けにあたり、地山に沿って巻き込んで施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他（理由： ） 【現場打法砕工関係（プレキャスト法砕工含む）】 <input type="checkbox"/> 使用する材料の種類、品質及び配合が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> アンカーを設計図書どおりの長さで施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 現場養生が、設計図書の仕様を満足するように実施されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 枠内に空隙がないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 層間にはく離がないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 不良箇所が生じないよう跳ね返り材料の処理を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 有害なクラックがない。 <input type="checkbox"/> その他（理由： ） 【土留め欄関係】 <input type="checkbox"/> 杭に損傷及び補修痕がないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 水平度、鉛直度等が、設計図書を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 溶接の品質管理に関して、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 地山とのすりつけが適切に行われていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 埋戻しにおいて、締固めが適切な方法で施工されており、工事終了後の沈下がないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他（理由： ）						
				「品質関係の試験結果のばらつき」 <input type="checkbox"/> ばらつきが50%以内 <input type="checkbox"/> ばらつきが80%以内 <input type="checkbox"/> ばらつきが80%を超える						
		評価率		※該当項目が2項目以下の場合はc評価とする。						
		評定								
		点数								

「判断基準」

評価率	ばらつきで判断可能			
	50%以内	80%以内	80%を超える	
90%以上	a	a'	b	
75%以上90%未満	a'	b	b'	
60%以上75%未満	b	b'	c	
60%未満	b'	c	c	

※ばらつきで判断できない場合は、品質のばらつきを規格値の80%以内と見なして評価する。



工事成績採点の審査項目別運用表

【記入方法】 該当する項目に1を入れる。

(土木・検査員用)

評価項目 細別	工種	a	a'	b	b'	c	d	e		
3. 出来形及び出来ばえ II. 品質	治山工事	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価率）から判断する。（判断基準参照）								
		該当	評価	「評価対象項目」 【共通】 <input type="checkbox"/> 設計図書に定められた品質管理を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 材料の品質が証明書類で確認できる。 <input type="checkbox"/> 法面に有害な亀裂がない。 【コンクリート工】 <input type="checkbox"/> コンクリートの配合試験等を行っており、コンクリートの品質（強度・w/c、最大骨材粒径、塩化物総量、単位水量、アルカリ骨材反応抑制等）が確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており、温度、スランプ、空気量等の測定結果が確認できる。 <input type="checkbox"/> 圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 施工条件や気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ及び締固め方法が、定められた条件を満足していることが確認できる。（寒中及び暑中コンクリート等を含む） <input type="checkbox"/> コンクリートの養生が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリートの圧縮強度を管理し、必要な強度に達した後型枠及び支保工の取り外しを行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリートの打設前に、打継ぎ目処理を適切に行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 有害なクラックがない <input type="checkbox"/> その他（理由： _____） 【緑化工、植栽工】 <input type="checkbox"/> 施工基面を平滑に仕上げていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 土壌試験の結果を施工に反映していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ネットなどの境界に隙間が生じていないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> ネットなどが破損を生じていないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 吹付け厚さが均等であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 生芝は枯損がなく良好であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 伏工等材料が施工面に凹凸がなく密着していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 施工時期が定められた条件を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 仮植、苗木等の運搬、植付け、土壌改良材施工等が設計図書の仕様を満足することが確認できる。 <input type="checkbox"/> 苗木等に乾燥、損傷等なく保護養生が設計図書の仕様を満足することが確認できる。 <input type="checkbox"/> 肥料が直接樹木の根にふれないよう均一に施肥されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他（理由： _____） 【現場打法枠工、プレキャスト法枠工関係】 <input type="checkbox"/> 使用する材料の種類、品質及び配合が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> アンカーを設計図書どおりの長さで施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 現場養生が、設計図書の仕様を満足するように実施されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 枠内に空隙がないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 層間にはく離がないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 不良箇所が生じないよう跳ね返り材料の処理を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他（理由： _____） 【土留工、護岸工等（ブロック・鋼製枠・籠・木製等）】 <input type="checkbox"/> 施工基面を平滑に仕上げていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリート二次製品等の規格寸法が設計図書で定められたものであり、欠損等がない。 <input type="checkbox"/> 木製材料に有害な腐れ、割れ、曲り等の欠陥がないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 基礎材、裏込材及び胴込めコンクリートの締固めを空隙が生じないよう十分に行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 端部や曲線部の処理が適切であり、必要な強度及び水密性を確保していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 部材の取り付けが設計図書の仕様を満足することが確認できる。 <input type="checkbox"/> シート等が所定の幅で重ね合わせられ、端部処理が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他（理由： _____）			評価	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、工事監督員が文書で改善指示を行い改善された。	評価	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。
				「品質関係の試験結果のばらつき」 <input type="checkbox"/> ばらつきが50%以内 <input type="checkbox"/> ばらつきが80%以内 <input type="checkbox"/> ばらつきが80%を超える						
		評価率	※該当項目が2項目以下の場合はc評価とする。							
		評定 点数								

「判断基準」

評価率	ばらつきで判断可能		
	50%以内	80%以内	80%を超える
90%以上	a	a'	b
75%以上90%未満	a'	b	b'
60%以上75%未満	b	b'	c
60%未満	b'	c	c

※ばらつきで判断できない場合は、品質のばらつきを規格値の80%以内と見なして評価する。

【記入方法】 該当する項目に1を入れる。

(土木・検査員用)

評価項目 3. 出来形 及び出来 ばえ II. 品質	工種	a		a'		b		b'		c		d		e	
		該当	評価	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価率)から判断する。(判断基準参照)											
林道工事				品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価率)から判断する。(判断基準参照)								評価 <input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、工事監督員が文書で改善指示を行い改善された。	評価 <input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。		
				「評価対象項目」 【共通】 <input type="checkbox"/> 設計図書に定められた品質管理を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 材料の品質が証明書類で確認できる。 <input type="checkbox"/> その他(理由: ) 【土工・路盤工】 <input type="checkbox"/> 施工基面を平滑に仕上げていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 雨水による崩壊が起らないように、法頭や法尻の排水路、法面のシートかけ等の排水対策を実施していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 段切りを設計図書に基づき行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 伐開除根作業が設計図書に定められた条件を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 締固めを適切な施工条件で施工している。 <input type="checkbox"/> 構造物周辺の締固めを設計図書に定められた条件で行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 土羽土の土質が設計図書を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> CBR試験などの品質管理に必要な試験を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 法面に有害な亀裂がない。 <input type="checkbox"/> 路床及び路盤工のブルーローリングを行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 路床及び路盤工(凍上抑制層を含む)の密度管理が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 路盤の安定処理は材料が均一になるよう施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 路盤の施工に先立って、路床面、下層路盤面の浮き石及び有害物を除去してから施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 路床盛土において、一層の仕上がり厚を20cm以下とし、各層ごとに締固めて施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 路床盛土において、構造物の隣接箇所や狭い箇所における締固めが、タンバ等の小型締固め機械により施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> せつ・777材料乳剤安定処理の材料使用量管理及び施工管理が設計図書の仕様を満足することが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他(理由: ) 【緑化工】 <input type="checkbox"/> 土壌試験の結果を施工に反映していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ネットなどの境界に隙間が生じていないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> ネットなどが破損を生じていないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 吹付け厚さが均等であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 生芝は柱損がなく良好であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 張芝材料が施工面に凹凸がなく密着していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 施工時期が定められた条件を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他(理由: ) 【その他構造物(管渠・ブロック・鋼製枠・籠・木製等)工】 <input type="checkbox"/> コンクリート二次製品等の規格寸法が設計図書で定められたものであり、欠損等がないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 木製材料に有害な腐れ、割れ、曲り等の欠陥がないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 基礎材、裏込材及び囲込コンクリートの締固めを空隙が生じないように十分に行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 端部や曲線部の処理が適切であり、必要な強度及び水密性を確保していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 部材の取り付けが設計図書の仕様を満足することが確認できる。 <input type="checkbox"/> シート等が所定の幅で重ね合わせられ、端部処理が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他(理由: ) 【コンクリート工】 <input type="checkbox"/> コンクリートの配合試験等を行っており、コンクリートの品質(強度・w/c、最大骨材粒径、塩化物総量、単位水量、アルカリ骨材反応抑制等)が確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており、温度、スランプ、空気量等の測定結果が確認できる。 <input type="checkbox"/> 圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 施工条件や気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ及び締固め方法が、定められた条件を満足していることが確認できる。(寒中及び暑中コンクリート等を含む) <input type="checkbox"/> コンクリートの養生が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリートの圧縮強度を管理し、必要な強度に達した後に型枠及び支保工の取り外しを行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリートの打設前に、打継ぎ目処理を適切に行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 鉄筋の品質が、証明書類で確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリート打設までにさび、どろ、油等の有害物が鉄筋に付着しないよう管理していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 鉄筋の結立及び加工が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 圧接作業にあたり、作業員の投量確認を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> スペーサーの品質及び個数が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 有害なクラックがない。 <input type="checkbox"/> その他(理由: ) 【777材料舗装工関係】 <input type="checkbox"/> アスファルト混合物の品質が、配合設計等により確認できる。 <input type="checkbox"/> 舗装工の施工にあたって、路盤面の浮き石などの有害物を除去していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> プラント出荷時、現場到着時、舗設時において、アスファルト混合物の温度管理を記録していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 各層の継ぎ目の位置が、設計図書に定められた数値以上であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 縦継目及び横継目の位置、構造物との接合面の処理等が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> アスファルト混合物の運搬及び舗設にあたって、気象条件を配慮していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他(理由: )											
「品質関係の試験結果のばらつき」				50%以内		80%以内		80%を超える							
評価率				90%以上		75%以上90%未満		60%以上75%未満		60%未満					
評定				a		a'		b		b'		c		c	
点数				b		b'		c		c					

評価率	ばらつきで判断可能		
	50%以内	80%以内	80%を超える
90%以上	a	a'	b
75%以上90%未満	a'	b	b'
60%以上75%未満	b	b'	c
60%未満	b'	c	c

※ばらつきで判断できない場合は、品質のばらつきを規格値の80%以内と見なして評価する。







工事成績採点の審査項目別運用表

〔記入方法〕 該当する項目に1を入れる。

(土木・検査員用)

評価項目別	工種	a	a'	b	b'	c	d	e	
3. 出来形及び出来ばえ II. 品質	魚礁・増殖場工事 (コンクリートブロックの場合)	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価率)から判断する。(判断基準参照)							
		該当	評価	「評価対象項目」			評価	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、工事監督員が文書で改善指示を行い改善された。	評価
				<input type="checkbox"/> コンクリートの配合試験等が行われており、コンクリートの品質(強度・W/C・最大骨材粒径・アルカリ骨材反応抑制等)が確認できる。			<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、工事監督員が文書で改善指示を行い改善された。		<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。
				<input type="checkbox"/> コンクリート受入時に必要な試験を実施しており、温度・スランプ・空気量等の測定結果が確認できる。					
				<input type="checkbox"/> 圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。					
				<input type="checkbox"/> 施工条件や気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ及び締固め方法が、定められた条件を満足していることが確認できる。(寒中及び暑中コンクリート等を含む)					
				<input type="checkbox"/> コンクリートの養生が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。					
				<input type="checkbox"/> コンクリートの圧縮強度を管理し、必要な強度に達した後に型枠及び支保工の取り外しを行っていることが確認できる。					
				<input type="checkbox"/> 鉄筋の品質が、証明書類で確認できる。					
				<input type="checkbox"/> コンクリート打設時までにはさび、どろ、油等の有害物が鉄筋に付着していないよう管理していることが確認できる。					
				<input type="checkbox"/> 鉄筋の組立・加工が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。					
				<input type="checkbox"/> スパースの品質及び個数が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。					
				<input type="checkbox"/> 有害なクラックがない。					
				<input type="checkbox"/> 施工中、水槽、散水等により母藻プレートが適切に管理されていることが確認できる。					
				<input type="checkbox"/> 使用した母藻プレートの品質(海藻の株数等)が確認できる。					
		<input type="checkbox"/> 採苗施設の設置が設計図書の仕様を満足し、適正な時期までに行っていることが確認できる。							
		<input type="checkbox"/> 設置後の採苗施設が設計図書の仕様を満足し、適切に管理していることが確認できる。							
		<input type="checkbox"/> その他(理由: )							
		「品質関係の試験結果のばらつき」							
		<input type="checkbox"/> ばらつきが50%以内							
		<input type="checkbox"/> ばらつきが80%以内							
		<input type="checkbox"/> ばらつきが80%を超える							
	評価率								
	評定	※該当項目が2項目以下の場合はc評価とする。							
	点数								

  

		ばらつきで判断可能		
		50%以内	80%以内	80%を超える
評価率	90%以上	a	a'	b
	75%以上90%未満	a'	b	b'
	60%以上75%未満	b	b'	c
	60%未満	b'	c	c

※ばらつきで判断できない場合は、品質のばらつきを規格値の80%以内と見なして評価する。

